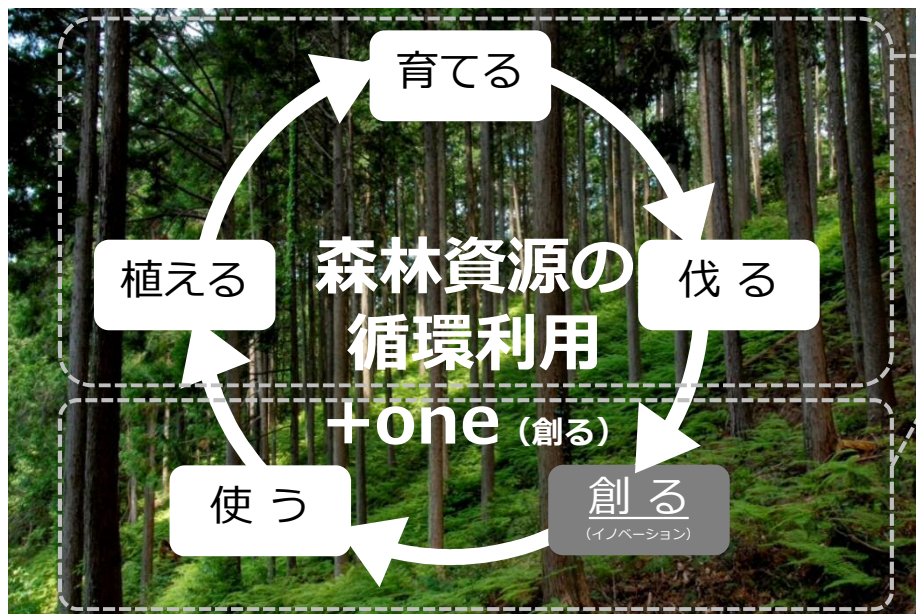


浜松版グリーンレジリエンス概要

- ▶ 浜松版グリーンレジリエンス（以下「浜松版GR」）は、
 - ①FSC（Forest Stewardship Council）森林認証制度に基づく、**持続可能かつ適切な天竜美林の管理**
 - ②森林組合・製材・木材流通・設計・建設・金融・行政など、業界を超えた事業者の連携・協働による**地元木材（FSC認証材）を活用した新事業創出並びに木材利用拡大**
 - ③市民参画による**緑の防潮堤などのインフラ整備**などを合わせた取り組み。
- ▶ 森林資源の循環利用のキーワードは、一般的には「植える」「育てる」「伐る」「使う」であるが、浜松版GRでは、「使う」の前に、地元木材の利用拡大や新事業創出に向け、**企業間連携による新たな機能や価値の創出、創造的なものづくりを示す「創る（イノベーション）」を加え、重要視**している点が特徴。



- ①FSC森林認証制度に基づく持続可能かつ適切な森林管理
+
- ②地元木材（FSC認証材）を活用した新事業創出・木材利用の拡大
+
- ③市民の森林に対する理解増進、緑の防潮堤等の市民協働によるインフラ整備
||

浜松版グリーンレジリエンス

【浜松版GRの目的】

- 天竜美林が持つ水資源の確保、山地災害防止、生態系保全、CO2の吸収等の多面的機能（=レジリエンス力）の維持・強化
- 地元木材の新事業創出・木材利用拡大を通じた産業振興



2つの目的を同時に達成し、
地方創生を実現